

事業所名	放課後等デイサービス ばんびくらぶ				公表日	令和7年 3月
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		主な活動スペースに加え、個室や屋外等を使用し、一人ひとりが好きなことに取り組むことができる環境作りに努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			ご利用者の個々の状況等に応じた職員配置、対応の工夫の必要性を感じます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関・屋外に通じるスロープや、トイレの手すりの設置、段差解消等のバリアフリー化が行われています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		支援前や支援後の清掃、消毒、整理整頓に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		学習やクールダウン等、ご利用者の要望に合わせて個室をご使用いただけるよう調整しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		業務を進める上で、職員間での情報共有、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年12月に保護者向けアンケートを実施しています。アンケート集計結果を職員間で共有し、業務改善につながるよう話し合いを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		会議や打ち合わせ等意見交換の場を設定し、その中で、担当職員から意見発信をしたり、話し合い・情報共有をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者委員の設置を行っています。	外部評価の実施はしておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		社外研修の周知を行い、職員の研修参加へつなげています。社内研修（人権擁護・虐待防止、保健・衛生、防災、ムーブメント）を計画、実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		作成し、公表予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		職員間での子どもの情報共有、担当者会議への参加、保護者との面談を通して、様子・状況、ニーズの把握を行い、個別支援計画の作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		会議の場を設定し、目標設定、支援・対応の方向性の検討・共有を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		作成後、職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	職員間での子どもの情報共有、担当者会議への参加、保護者との面談を通して、様子・状況、ニーズの把握を行っています。	今後、MEPA-R（ムーブメント教育療法）等のアセスメントツールを少しずつ取り入れながら、適切なアセスメントにつなげていきたいと考えます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		計画に4項目を入れ込み、本人支援に関しては5領域を関連させながら、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		リーダー職員、担当職員を中心に、活動内容の打ち合わせを行っています。	

関係機関や保護者との連携	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎月、週替わりの活動を行っています。ひと月の中で、静と動の活動バランスを意識し、活動内容は固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		面談を通して利用者の状況を把握し、職員間での共有を行っています。その時の課題やニーズに対する目標設定を行い、活動や個の取り組みにつなげています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		翌日に、前日の振り返りと当日の打ち合わせを行っています。共有事項や当日の活動・支援方法を検討しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		その日の様子や計画目標に対する記録を行っています。	事実を簡潔に記載することを心がけていきます。また、背景や要因等の記載方法の検討が必要と感じます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		基本を1回/6ヶ月とし、モニタリングを行っています。職員間での共有・振り返り、保護者との面談を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			組み合わせに偏りがあるので、検討・工夫が必要と感じます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		利用者が自己選択・自己決定する機会を設定しています。例：外出先の希望、自由時間の過ごし方、活動時の参加方法等	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		基本的に、児童発達支援管理責任者が会議に出席しています。必要に応じて、他職員も参加する場合があります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて、関係機関と情報共有を行っています。	体制づくりの強化が必要と感じます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校の年間予定や下校時間等の確認を、主に保護者を介して行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			体制づくりの強化が必要と感じます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		当事業所の利用を小学生までとしているため、小学校卒業後の移行事業所との情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		連携強化が必要と感じます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	外出先（公園等）で出会うことがあります。	外出活動を積極的に取り入れ、地域での居場所づくりにつなげていきたいと考えます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	法人代表が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		事業所迎えや自宅送迎時、定期的な面談の際に、情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	今年度は、児童発達支援とともに保護者交流会を開催いたしました。シンポジウム等の案内を掲示しています。	今後も、シンポジウムや研修等の情報提供に努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の際に説明をしています。また、年度初めにおたよりにて周知を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談時に意向をうかがっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談時や計画作成後に共有し、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて、面談時や送迎時に共有しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		今年度は、児童発達支援とともに保護者交流会を開催いたしました。	今後も開催に向けての取り組みを行います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情解決のフローチャートを作成しています。	周知体制の強化が必要と感じます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		行事や活動予定、活動写真等を掲載したおたよりを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			個人情報の取り扱いについて、職員間で共通認識を持ち、業務にあたります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		非言語コミュニケーションや視覚支援等を用いて行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	ボランティア（1回/月）に来ていただいています。	今後の取り組みの検討が必要と感じます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		保護者への周知強化が必要と感じます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		5回/年の避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬やてんかん発作等について情報共有に努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師の指示書の下、薬をお預かりしています。アレルギー表の作成を行い、提供するおやつ等2人以上での確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			研修や訓練内容等、確認・見直しを定期的に行います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			保護者への周知強化が必要と感じます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で情報共有、方法の検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		法人内外への研修へ参加しています。打ち合わせ等において、認識の共有や、意識づけに努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3	現在対象者はいません。	身体拘束に対する認識を深めます。想定される事案に対しては法人としての検討が必要です。	